

2018年度優秀論文賞

第53号掲載、富田洋介著「経済的不平等と経済的生産性に関する覚書-法の起源と株式市場の規模を中心に-」

本論文は法と経済学の分野でよく知られる LLSV の論文を参考に、経済的不平等と経済的産出量についての関係を考察したものである。その見方は斬新でまた一定の成果も認められる。

近年、経済的不平等は解決されるべき喫緊の課題として取り上げられている。この問題を経済的生産性や法の起源に依拠して、その関連性を解き明かそうというユニークな問いに挑んだ論文である。

経済的不平等と経済的生産性の間には負の相関があり、法の起源によって経済的不平等の程度が異なるという分析結果を得ているが、この結果は想像に難くないだろう。サンプルの少なさに限界があり、経済的不平等と経済的生産性間の因果関係の分析にもやや無理があるとはいえ、本論文の分析は、先駆的な研究としてこの分野の研究に貢献するものと期待できる。

以上の理由をもって、2018年度証券経済学会優秀論文賞とする。

2018年12月1日

証券経済学会年報編集委員会

委員長 翟 林瑜